

編集部に寄贈していただいた書籍

(2009年1月～2009年12月)

- 鮎京正訓編『アジア法ガイドブック』名古屋大学出版会 2009, vi+433pp.
- 青木浩治著『アジア通貨・金融危機, および中国の台頭——理論・実証分析——』知泉書館 2009, xix+360pp.
- 青木澄夫著『放浪の作家安藤盛と「からゆきさん」』中部大学/風媒社 2009, 141pp.
- 浅野耕太編著『自然資本の保全と評価』ミネルヴァ書房 2009, xi+271pp.
- アジア政経学会監修 高原明生・田村慶子・佐藤幸人編著『現代アジア研究1 越境』慶應義塾大学出版会 2008, ix+472pp.
- アジア政経学会監修 竹中千春・高橋伸夫・山本信人編著『現代アジア研究2 市民社会』慶應義塾大学出版会 2008, viii+381pp.
- アジア政経学会監修 武田康裕・丸川知雄・巖善平編著『現代アジア研究3 政策』慶應義塾大学出版会 2008, viii+408pp.
- 足立幸男編著『持続可能な未来のための民主主義』ミネルヴァ書房 2009, xi+248pp.
- 井伊雅子編『アジアの医療保障制度』東京大学出版会 2009, xii+274pp.
- 池間誠編著『国際経済の新構図——雁行型経済発展の視点から——』文眞堂 2009, x+285pp.
- 石井章著『ラテンアメリカ農地改革論』学術出版会 2008, 404pp.
- 井原基著『日本合成洗剤工業のアジア進出——マーケティングと経営移転——』ミネルヴァ書房 2009, x+231pp.
- 岩崎えり奈著『変革期のエジプト社会——マイグレーション・就業・貧困——』書籍工房早山 2009, 216pp.
- 大里浩秋・孫安石編著『留学生派遣から見た近代日中関係史』御茶の水書房 2009, x+269+216pp.
- 大坪滋編『グローバルゼーションと開発』勁草書房 2009, xiii+499pp.
- 小椋正立監修 イ・チョルヒ/シン・クァンホ編『韓国における高齢化研究のフロンティア——経済学の視点から——』ミネルヴァ書房 2009, xi+573pp.
- 小倉充夫著『南部アフリカ社会の百年——植民地支配・冷戦・市場経済——』東京大学出版会 2009, xiii+236+xvi pp.
- 小此木政夫・磯崎敦仁編『北朝鮮と人間の安全保障』慶應義塾大学出版会 2009, viii+282pp.
- 柿崎一郎著『鉄道と道路の政治経済学——タイの交通政策と商品流通 1935～1975年——』京都大学学術出版会 2009, xi+488pp.
- 吉川元著『民族自決の果てに——マイノリティをめぐる国際安全保障——』有信堂高文社 2009, iv+223pp.
- 黒崎卓著『貧困と脆弱性の経済分析』勁草書房 2009, ix+307pp.
- 金野純著『中国社会と大衆動員——毛沢東時代の政治権力と民衆——』御茶の水書房 2008, vii+431+xxi pp.
- 坂田幹男編著『中国経済の成長と東アジアの発展』ミネルヴァ書房 2009, xiii+264pp.
- 佐々木信彰監修 辻美代・金澤孝彰・許海珠編『中国の改革開放30年の明暗——とける国境, ゆらぐ国内——』世界思想社 2009, v+237pp.
- 篠田武司・宇佐見耕一編『安心社会を創る——ラテン・アメリカ市民社会の挑戦に学ぶ——』新評論 2009, 315pp.
- 末廣昭著『タイ 中進国の模索』岩波書店 2009, xiv+230+17pp.
- 関良基・向虎・吉川成美著『中国の森林再生——社会主義と市場主義を超えて——』御茶の水書房 2009, xi+260pp.
- 武内進一著『現代アフリカの紛争と国家——ポストコロナル家産制国家とルワンダ・ジェノサイド——』明石書店 2009, 462pp.
- 谷内満著『グローバル不均衡とアジア経済』晃洋書房 2008, viii+220pp.
- 玉城素著『玉城素の北朝鮮研究——金正日の10年を読み解く——』晩聲社 2009, 382pp.
- 藤鑑著『中日経済の相互依存——接続中日国際産業連関表の作成と応用——』御茶の水書房 2009, viii+141pp.
- 千葉芳広著『フィリピン社会経済史——都市と農村の織り成す生活世界——』北海道大学出版会 2009, xi+305pp.
- 趙利済/渡辺利夫/カーター・J・エッカート編『朴正熙の時代——韓国の近代化と経済発展——』東京大学出版会 2009, iii+271pp.
- 中居良文編著『台頭中国の対外関係』御茶の水書房 2009, ix+187pp.
- 長坂格著『国境を越えるフィリピン村人の民族誌——トランスナショナルリズムの人類学——』明石書店 2009, 450pp.
- 中西嘉宏著『軍政ビルマの権力構造——ネー・ウィン体制下の国家と軍隊1962-1988——』京都大学学術出版

- 会 2009, xiv+321pp.
- ナズール・イスラム, 小島麗逸編『中国の再興と抱える課題』勁草書房 2009, vi+370pp.
- 西真如著『現代アフリカの公共性——エチオピア社会にみるコミュニティ・開発・政治実践——』昭和堂 2009, 266+xxiii pp.
- 西澤信善・北原淳編著『東アジア経済の変容——通貨危機後10年の回顧——』晃洋書房 2009, vi+242pp.
- 長谷川啓之監修 上原秀樹・川上高司・谷口洋志・辻忠博・堀井弘一郎・松金公正編『現代アジア事典』文眞堂 2009, xii+1384pp.
- 浜渦哲雄著『イギリス東インド会社——軍隊・官僚・総督——』中央公論新社 2009, 214pp.
- 林幸司著『近代中国と銀行の誕生——金融恐慌, 日中戦争, そして社会主義へ——』御茶の水書房 2009, viii+243pp.
- 原不二夫著『未完に終わった国際協力——マラヤ共産党と兄弟党——』風響社 2009, 302pp.
- 宮川典之著『一次産品問題を考える——史的考察・国際金融・大恐慌——』文眞堂 2009, vi+174pp.
- 室田武編著『グローバル時代のローカル・コモンス』ミネルヴァ書房 2009, xiii+283pp.
- 森晶寿編著『東アジアの経済発展と環境政策』ミネルヴァ書房 2009, xi+258pp.
- 諸富徹編著『環境政策のポリシー・ミックス』ミネルヴァ書房 2009, xiii+296pp.
- 安富歩・深尾葉子編『「満州」の成立——森林の消尽と近代空間の形成——』名古屋大学出版会 2009, ix+556+17pp.
- 和歌山大学経済学部山東大学経済学院「共同研究」会編『グローバル化のなかの日中経済関係——進展と深化——』御茶の水書房 2009, xvii+333pp.
- Ali Riaz, *Faithful Education: Madrassahs in South Asia*, Rutgers University Press, 2008, xii+289pp.
- Annette Miae Kim, *Learning to Be Capitalists: Entrepreneurs in Vietnam's Transition Economy*, Oxford University Press, 2008, x+212pp.
- Elizabeth F. Drexler, *Ache, Indonesia: Securing the Insecure State*, University of Pennsylvania Press, 2008, 287 pp.
- Fakhreddin Azimi, *The Quest for Democracy in Iran: A Century of Struggle against Authoritarian Rule*, Harvard University Press, 2008, xiv+492pp.
- Fan Zhai ed., *From Growth to Convergence: Asia's Next Two Decades*, Palgrave Macmillan 2009, xvi+335pp.
- Gilles Saint-Paul, *Innovation and Inequality: How Does Technical Progress Affect Workers?*, Princeton University Press, 2008, xiv+190pp.
- Sakamoto Kumiko, *Social Development, Culture, and Participation: Toward Theorizing Endogenous Development in Tanzania*, 春風社 2009, xviii+530pp.
- Uzawa Hirofumi, *Economic Theory and Global Warming*, Cambridge University Press, 2009, xii+279pp.